

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード 820115		特色ある学校づくり支援事業		担当部課	部課コード 820100	TEL	2998-9238	
開始年度		平成13年度		→		終了年度	年度			
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	特色ある学校づくり支援事業実施要綱								
	関連・類似事業									
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	学校教育	基本方針	地域が信頼する学校づくりの推進			
事業開始の背景	教育の地方分権の趣旨を生かし、各学校が地域の環境や人材を活用した教育課程を編成するとともに、創意工夫を凝らした教育活動を展開するために開始した。									
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)									
	市立幼稚園、小・中学校が特色ある教育活動を展開し、心豊かなたくましい幼児・児童生徒の育成を目指す。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	48	校・園	平成 27 年度	48	校・園	
事業の具体的な内容及び実施方法										
<p>○幼稚園、各小・中学校が、創意工夫を凝らして、地域の特性を活かした活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実績と当該年度の計画を元に、各校・園の特色ある学校づくりを支援する事業委託料を決定する。 ・年度途中に、事業の進捗状況を把握するヒアリングを行う。 ・年度末に、事業の結果報告と次年度の計画についてヒアリングを行う。 ・学校管理訪問や学校指導訪問により進捗状況を把握する。 ・各校・園からの事業報告をまとめ、「特色ある学校・園づくり支援事業報告書」を作成し、各校・園、関係機関・部署への配布する。 										
④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
	当初予算				13,996		11,975		11,961	
	決算(見込み含む)				13,987		11,970			
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(0.00 人) (0.00 人)		(0.00 人) (0.00 人)					
	正規職員人件費		0.45 人 3,924		0.45 人 3,897					
	事業費合計		17,911		15,867					
財源内訳		一般財源		17,911		15,867		11,961		
		国・県支出金		0		0		0		
		その他()		0		0		0		
⑤実績	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績		特色ある学校づくり実施校(園)		校	48	48	48	48	
			1校・園あたりの平均配当予算額		千円	291	249	249	250	
⑥成果	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標		ヒアリング等に基づいた、各校(園)の成果の評価点(10点満点)の平均点		点	9.0	9.0	9.0	10.0	
	目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	96	98	↑どちらかをチェックしてください		
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	特色ある学校・園づくり支援事業の周知について、職員をはじめ保護者や地域の方々へ学校便りやHP、学校説明会において積極的に広めるよう学校へ依頼した。中間ヒアリングで周知を依頼した結果、報告書には、様々な形により周知が徐々に図られていることが記載されていた。					各学校(園)とのヒアリングの結果、予算の計画的な執行及び本事業の地域への周知の面において、やや課題がある学校が見られた。今後はこれらの課題をより改善できるように学校を支援していく。				
⑧評価	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由	小・中学校、幼稚園が創意工夫をし、地域の特性を活かした特色ある教育活動をさらに展開し、心豊かなたくましい児童生徒の育成を図るため。				
	方々向後の		次年度予算		理由	各小・中学校、幼稚園では、特色ある学校(園)づくりを学校経営の中心的事項として推進しており、保護者、地域からの評価も高い。今後も本事業の推進を図る必要があるが、厳しい財政状況をふまえながらも、現状の予算額より効率的な運用実施を目指す。				
⑨評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性				
	各学校は、設定した「特色ある学校(園)づくり宣言文」に基づき、地域の特性を活かしながら学校教育目標の達成のために、支援事業の有効活用を十分に進めている。また、学校管理訪問や指導訪問により進捗状況を把握している。					各学校(園)のさらなる主体性を活かした教育課程の編成・実施の具体的な手立てとして、本事業を活用して、今後も創意工夫を凝らした特色ある学校(園)づくりを支援する。				
	評価日	H28.8.19		評価者職氏名	学校教育課 塚 俊彦					
⑩環境影響	有益な環境影響				有害な環境影響を及ぼす原因活動		事務文書の作成		規制を受ける環境法令等	
									緊急事態	
										無
										無